

一般社団法人日本児童青年精神医学会 再認定申請時チェックリスト

申請番号（事務局記入欄）：	記入日：	
申請者名：		
1. 提出書類（すべて揃っていることを確認）		
<input type="checkbox"/> 認定医再認定申請書 <input type="checkbox"/> 研修実績報告書 <input type="checkbox"/> 規定を満たすことを証明する書類 <input type="checkbox"/> 医師としての職歴に関する追加申請 <input type="checkbox"/> 振込票のコピー <input type="checkbox"/> チェックリスト（本紙）		
2. 申請資格等		はい
1. 認定医期限が本年度 3 月 31 日までである 2. 過去 5 年間で研修等により 15 点以上を得た（研修実績報告書と規定を満たすことを証明する書類を提出する） 3. 医師としての職歴に関する追加申請（過去 5 年間の職歴上の異動）を記した文書、または異動のない場合、その旨を記した文書を提出する 4. 再認定審査料を振り込んだ 5. 提出書類のコピーを手許に残してあり、簡易書留で送付する		該当せず
3. 研修実績報告書（認定医制度施行細則第 10 条の規定による実績報告、および規定を満たすことを証明する書類）		
1. 本学会誌掲載論文以外の論文または出版物については、表紙のコピーのみでなく内容のコピーを提出する 2. 論文は、公刊された刊行物（紀要、研究班報告書などを含む）であり、児童青年精神医学の臨床に関する内容で、論文形式をとり考察を含んでいる 3. 演題発表の実績証明として、抄録集等のコピーを添付する 4. 本学会、または指定学会、研究会、研修会への出席を証明する書類（コピーでも可）を添付する（ただし、一学会・研究会につき、1 年度 1 点を上限とする。勤務先の上司の出張証明は不可） 5. 日本医師会生涯教育研修への受講出席は、合計 5 点以内である 6. 精神保健指定医の証（コピー）を添付する		
4. 5 例までの症例報告を提出の場合（該当しない場合は以下不要）		
1. 申請者が診療を担当した時点で 18 歳未満である 2. 治癒に至っていない場合、治療中断に終わった場合には、その間の事情について言及されている。この場合、6 カ月以上の経過追跡を必要とする 3. 症例報告の様式の典例を参考に、症例番号、性別、初診時年齢、診断、主訴、家族歴、生育歴、現病歴、治療の経過を記載し、一定程度の考察を付記している 4. 診断（ICD-10 に従って記載し、コード番号も示す。可能なかぎり下位診断名まで記載し、必要に応じて、従来診断も併記されている） （例：F84 広汎性発達障害 ではなく、F84.5 アスペルガー症候群と記載） 5. 適応外処方については、説明と同意の内容が明記されている 6. 個人情報保護に配慮した記載を行っている 7. 年号は、X 年で記載されている 8. 1 例 2,000 字程度で記述されている。A4 用紙にワードプロセッサで記述し、1 枚の字数は 1 枚の字数は 40×30 行、文字の大きさは 10.5 ポイントである 9. 症例は未発表の最新のものが望ましい		